

くるま いし 2026年
車石 8月

逢坂市民センターだより 令和 8年 8月 第393号
 学区全体の人口 8,089人(4,016世帯)
 (女 4,322人 男3,767人) 7月1日現在
 発行: 逢坂支所・逢坂公民館 大津市京町三丁目1番3号
 Tel: 524-7827 Fax: 524-3993

気象状況などにより、事業や貸館を中止する場合があります。

8月の公民館での行事のお知らせ

7 21	金	講座「おうさか いきいき体操」
17	月	夏休み おうさか わくわく子ども塾 講座「検察庁と裁判所を見学しよう！」
18	火	夏休み おうさか わくわく子ども塾 講座「選挙を体験してみよう！」

熱中症予防対策の「クーリングシェルター」開設

大津市では、熱中症予防を目的として、市内各地の公共施設および民間施設にて「クーリングシェルター」を開設しています。逢坂市民センターでは「ちょっとひと休み」できる一時休憩所として、ロビーを開放しています。
 お気軽にご利用ください。
 [期間]令和8年10月21日(水)まで 平日9時～17時



《子ども達の夏休み》

湖や河川、夜道などで子ども達に危険が及ばないように、地域の皆様の見守りへのご協力をお願いします。



- ☆逢坂幼稚園 … 7/18(土)～8/31(月)
- ☆逢坂小学校 … 7/18(土)～8/31(月)
- ☆打出中学校 … 7/18(土)～8/27(木)

ごみカレンダー・2026年(令和8年) 8月

お問い合わせはごみコールセンター ☎528-2761 へ

日	月	火	水	木	金	土
						1
						-
2	3	4	5	6	7	8
-	燃やせるごみ	燃やせないごみ	プラ容器包装	燃やせるごみ	かん	-
9	10	11(山の日)	12	13	14	15
-	燃やせるごみ	紙ごみ	プラ容器包装	燃やせるごみ	ペットボトル	-
16	17	18	19	20	21	22
-	燃やせるごみ	びん ※リチウムイオン電池 小型充電式電池	プラ容器包装	燃やせるごみ	かん	-
23/30	24/31	25	26	27	28	29
-	燃やせるごみ	紙ごみ	プラ容器包装	燃やせるごみ	ペットボトル	-

※ご注意ください! 「びん」の日に出せるリチウムイオン電池は「販売店で回収されないもの」に限ります。

ゴミ収集カレンダーや分別を確認できるアプリ「分けなび」を無料で配信中



iPhoneをご利用の方

Androidをご利用の方

お使いのスマートフォンにアプリをインストールしてお使い下さい。



お問合せ先
 環境部 廃棄物減量推進課
 電話: 528-2802

逢坂学区文化祭実行委員会 主催

第41回 逢坂学区文化祭 参加者募集

逢坂公民館を会場とする学区の文化祭に、参加してみませんか？
個人での参加も可能です。日頃の成果を是非、文化祭でご披露下さい！



〔日 時〕 11月21日(土)～22日(日)

〔申込締切〕 8月27日(木)

〔募集内容〕 舞台発表・・・発表例) 合唱・合奏・伝統芸能・ダンス・舞踊・落語など
作品展示・・・作品例) 絵画・書道・写真・彫刻・陶芸・生け花など

〔申込み〕 申込書は逢坂公民館の窓口にて配布しています。必要事項をご記入の上、
来館・メール・Fax(524-3993)にて、文化祭実行委員会事務局にご提出ください。
受付は平日9時から17時

〔問合せ〕 逢坂公民館内事務局 Tel:524-7827 / メール: otsu2435@city.otsu.lg.jp

18歳になる前に！② 講座「選挙を体験してみよう！」 ～選挙はなぜ大切なのか～

高校生のお兄さん、お姉さんと一緒に楽しく選挙の仕組みを学ぼう！
実際の投票箱を使って投票体験もできるよ！

〔日 時〕 8月18日(火) 13:00～14:30

〔場 所〕 逢坂公民館2階 第1・2会議室

〔対 象〕 小学4～6年生・中学生

〔定 員〕 20名(先着順)

〔講 師〕 大津市選挙管理委員会

〔協 力〕 「比叡山高等学校」・「滋賀短期大学附属高等学校」生徒会のみなさん

〔持ち物〕 水筒(熱中症対策の為、多めの水分)・筆記用具

〔申込み〕 二次元コード・メールよりお申込みください。

現在受付中

<https://forms.office.com/r/zWteEgEfyJ>

昨年の選挙体験の様子→



申込みフォーム



7/6(月)9時～受付中

逢坂学区「人権・生涯」学習推進協議会 主催

【開催報告】第58回 人権を考える大津市民のつどい打出ブロック 逢坂学区「夏の集会」

7月12日(日)、逢坂公民館で開催され、滋賀県平和祈念館の村田 明さんより、身近な「大津の戦争体験」をご講話いただきました。

●引き裂かれた寂しい青春

戦地へ出向かれた兵隊さんを励ますために、「武運長久」を願い、4年間文通を続けておられた女性の方がおられました。しかし兵隊さんは不幸にも戦死され、淡い青春の思い出となりました。

●被害者が「加害者」になる恐ろしさ

当時、若い青少年が労働者として過酷な労働に参加させられ、お国の為にと兵器製造などに携わされました。そのことが、戦争の相手を傷つける「加害者」にされてしまう戦争の構造、その行為を悔やむ苦しみ語られました。

●最大の人権侵害は戦争である

昭和20年7月 大津市石山の東洋レーヨン(現:東レ滋賀事業場)に投下された巨大なパンプキン爆弾(4.5トン)は、死者16名・負傷者100名以上の県内最大の被害を出しました。命も尊厳も奪う戦争こそが最大の人権侵害ということです。

身近なところにたくさんの戦争遺跡があった事に驚き、悲劇を過去にせず「伝えること・考えること」「生きること」の大切さを学びました。参加者一同、平和と人権の尊さを改めて深く刻む貴重な機会となりました。



信楽で作られた手榴弾



詩人・石垣りん 戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく 「弔詩」より引用